

## 令和5年度東播支部定時総会及びサツマイモ植付け

東播支部事務局長 細貝 寛徳

東播支部（支部長・石田真一）は令和5年5月21日（日）9時から青野原駐屯地広報班ミーティングルームにおいて、石田真一支部長以下28名で令和5年度支部総会を開催した。

総会に先立ち石田支部長から、「コロナ感染症が第5類に引き下げられたので、徐々にコロナ前の活動を推進していこう。また、日本を取り巻く厳しい情勢や災害大国としての活動等に対応できるよう訓練を行っている現職自衛官に対するサポートを支部としてどれだけできるのかを考えよう。さらに、国民に対して自衛隊の存在意義の重要性を認識してもらう重要な時期に来ているので、国民と自衛隊の架け橋となる活動を意識しましょう。」との挨拶がなされました。

総会は物故者に対する黙とう、昨年までの活動に貢献して頂いた会員（廣瀬正幸理事役、西岡 司会員）に対し、支部長からの感謝状の贈呈を行った。その後、議事を滞りなく進め、総会を終了した。

総会終了後に無償借用している滝野体育センター近傍の休耕田に移動して、毎年行っているサツマイモ収穫祭用の苗450本の植付けと猪被害を防ぐための防護柵の設置作業を滞りなく終了した。

この日の植付け作業を円滑に進めるため、石田支部長、池田副支部長、鈴木理事役、上中理事役のほか、三木市から空中理事役、入船理事役が加わり、前日までの準備作業を行うとともに、当日は黒川理事役に450本の新鮮な苗を準備して頂きました。

東播支部の各行事は、役員を始め会員の方々による積極的な活動の下に成り立っていることを改めて実感できました。また、今回の植付けには今年3月に入会した藤田 和也会員も参加し、総勢28名で和気あいあいと植付けと防護柵を設置した。

作業終了後には、昨年同様にたくさんの大きなサツマイモが収穫できることを祈りつつ、簡単な茶話会をして解散となった。

## 総会風景



## 感謝状贈呈



## サツマイモ植付け

